

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当期におけるわが国経済は、政府による財政政策や日銀による金融緩和を背景に円安・株高で推移し、輸出関連企業を中心に景況の改善が感じられました。また、公共投資の増加の他、年度末にかけては消費税増税前の駆け込み需要もあり、景気にも穏やかな回復が感じられるところとなりました。

海外経済におきましては、米国経済が緩やかな回復を継続し、欧州経済も景況感に改善の兆しを見せる中、中国や新興国の景気減速懸念などにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。

ここに、第100期（2014年3月期）報告書をお届けし、当期の業績の他、2014年度の経営計画などについてご報告いたします。

キッツグループは、流体制御のプロフェッショナルとしてお客様の期待を超える商品・サービスでそのフィールドと可能性を世界に広げ、明日のゆたかな社会を創造してまいりたいと考えています。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2014年 6月

代表取締役社長 堀田 康之



ドーム兄弟  
春草文花瓶  
《矢車菊とモクセイソウ》  
制作年 1902年  
高さ 33.5cm

野原に咲く矢車菊、モクセイソウ、エリカが色とりどりのエナメル彩で描かれ、口と台座の金彩が華やかさを引き立てる。背景には「ジヴレ（霧氷紋）」が施され、ざらざらした質感が光を柔らかく反射させる。丹念な描写と明るい色彩により身近な自然が伸び伸びと表現された本作は、ドーム兄弟の作風をよく表す逸品である。

北澤美術館所蔵

**KITZ**

To Our Shareholders

キッツグループは、2013年5月に、2020年度を最終年度とする長期経営計画「KITZ Global Vision 2020」の達成に向けて、「第2期中期経営計画（2013年度～2015年度）」を発表いたしました。その初年度にあたる2013年度の業績、第2期中期経営計画に対する進捗及び2014年度の経営計画などについて、堀田社長に伺いました。



代表取締役社長 堀田 康之

当期の連結業績の概況

**Q** 連結業績は前期比増収となりました。

**A** 前期比5.5%の増収を確保

ご指摘の通り、当期の連結売上高は、前期比60億80百万円増の1,173億55百万円と増収を確保することができました。

セグメント別では、グラフが示す通り、バルブ事業が前期比34億16百万円、伸銅品事業が前期比30億5百万円の増収となりましたが、その他（サービス関連の事業）では前期比3億41百万円の減収となりました。

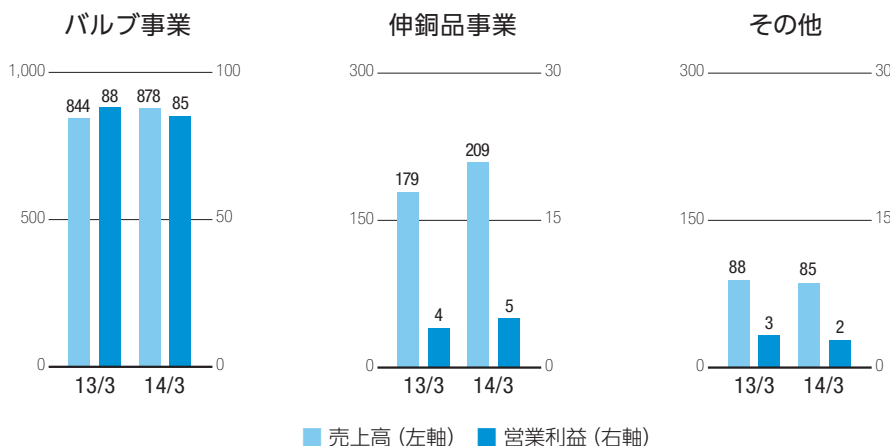


**Q** バルブ事業と伸銅品事業の売上高の増加についてお聞かせください。

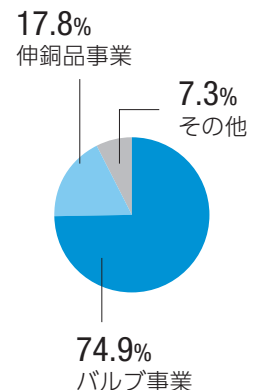
**A** バルブ事業では海外売上高の増加、伸銅品事業では販売数量の増加が連結業績に寄与

バルブ事業の国内市場では、半導体製造装置向けの需要が大幅に回復したことに加え、給装製品も好調に推移しました。建築設備向けやプラント向けの実需の回復は想定よりも遅れたものの、2014年1月に実施した一部製品の価格改定に伴う駆け込み需要もあり、前期比で増収となりました。海外市場では、円安が急速に進み、前期比で大幅な為替変動となったこともあり、アジア及びヨーロッパ向けを中心に売上高が増加したことがバルブ事業増収の要因です。また、伸銅品事業でも販売数量の増加により大きく売上を伸ばしたことが連結業績に寄与しました。

セグメント別売上高・営業利益 (単位：億円)



売上高構成比



**Q** 増収にもかかわらず営業利益が減少したのはなぜなのでしょう。

**A** 国内向け製品の原価上昇、販売価格の下落が大きく影響

先ほどお話しした通り、バルブ事業において、売上高は円安の影響を受けて海外グループ会社の売上が増加しましたが、一方で、海外生産品の輸入価格が上昇し、国内向けの原価の上昇につながりました。また、国内市場の需要が低迷する中、価格競争の激化などに伴い販売価格の下落も続き、第2四半期累計のバルブ事業の業績は、前年同期比△27.3%の大幅な減益となりました。

材料市況の高騰や円安による輸入価格の上昇に対して、本年1月より一部製品の販売価格の改定を実施したことに加え、消費税増税前の駆け込み需要などもあり、第4四半期の業績が大きく改善した結果、通期の営業利益は85億97百万円となり、前期比△2.4%の減益にとどまりました。

伸銅品事業は、需要の増加に伴う販売量の増加に加え、銅相場が比較的安定して推移したこともあり前期比1億6百万円の増益となりましたが、その他(サービス関連の事業)では、ホテル事業において、本館・別館の大幅なリニューアルを行ったことに加え、一年を通しての天候不順の影響などもあり、44百万円の減益となりました。これらの結果、連結合計では前期実績を87百万円下回る結果となりました。

## 第2期中期経営計画の進捗

**Q** 昨年5月に発表された第2期中期経営計画の初年度が終了しましたが、振り返られていかがでしょうか。

**A** 為替の変動等により厳しいスタートに

売上高や利益の数値目標については、次ページに記載の通り未達に終わりました。国内市場において、景況に改善は感じられたものの、人手不足を要因とする建設業界における入札の不調や工事の遅延などにより、年初に見込んでいた実需の発生が遅れた他、為替の大きな変動などの不確定要素も重なりました。

**Q** 主な戦略の進捗について、まずは、販売面から教えてください。

**A** 海外販売拠点の整備と強化

海外市場の重要な地域を3極(米州、欧州、アセアン)2拠点(中国、インド)と位置づけています。3極の各エリアに地域統括会社を設置し、販売、マーケティング、エンジニアリング、ストック、メンテナンス、サービスといった複合機能を持たせた現地密着型のビジネス展開を進めています。中国においても、現地の販売拠点を中心に積極的な新規開拓を進行中です。また、昨年10月には韓国に駐在員事務所を新設するなど、海外拠点の整備については順調に進んでいます。なお、昨年12月にはインドのバルブメーカー Micro Pneumatics Private Limited 社の買収契約を締結、インド市場拡大への足掛かりとすべく、準備を進めています。

**Q** 生産面ではいかがでしょうか。

**A** 採算性向上と原価低減への取り組みを加速

採算性向上のための製品供給体制の見直しを進めるとともに、グループ一体となった材料・部品調達の最適化により原価低減を図り、グローバルで競争できるコスト・品質の確立を加速させています。

その一環として、トピックスのページにご紹介していますように、キッツ茅野工場に第2工場棟を増築し、給装製品の一貫生産体制を整備しました。これによりキッツ長坂工場においても、主に工業用に使用されるステンレス鋼製バルブの専門工場として、さらなる生産の効率化を図ることができ体制となりました。



## 今期の経営計画

**Q** 今期の経営環境をどのように見ていらっしゃいますか。

**A** **経営環境は前期からの好転を予想**

日本経済においては、消費税増税前の駆け込み需要の反動により、一時的に景気減速が見込まれるものの、円安推移による輸出回復を背景として、緩やかに回復するものと見込んでいます。また、2020年には東京オリンピック開催も決定しており、それに向けた建設投資も徐々に始まると思います。これらに加えて、プラント関連も改修や能力増強の設備投資が戻ってくる他、エネルギー市場でもLNG関連の需要は高まるものと考えています。

海外経済は、中国及び新興国における景気減速懸念や欧州での低成長の継続など先行き不透明な状況ではありますが、米国景気の堅調な回復を背景に成長が持続するものと思います。

今期の当社グループを取り巻く環境は、総じて前期よりも明るいと考えています。

**Q** 経営計画達成のためのポイントを教えてください。

**A** **今期の経営計画達成を目指して**

今期の経営計画は、前期比では増収増益ですが、第2期中期経営計画の2年目の目標値を下回る数値となっています。今期はこれを達成して、第2期中期経営計画の最終年度につ

なげていきたいと考えています。

主力のバルブ事業においては、国内向けで、本年1月に実施した一部製品の販売価格の改定による新価格を市場に浸透させるとともに、需要の回復が予想される建築設備向けやプラント向けで売上を伸ばさせて収益を確保したいと考えています。また、海外向けでも各地域の市場特性に合わせて製品ラインナップを充実させるとともに、引き続き、グローバルで戦えるコスト競争力の強化を図ってまいります。

生産面では、主力製品の最適地生産体制を構築し、さらなる原価低減を図り、また、開発面では、成長分野である石油・ガス市場向け製品及びプラント計装市場関連製品の研究開発や環境対応商品の開発を進めてまいります。

**Q** 最後に、株主の皆様へメッセージをお願いします。

**A** **真のグローバル企業への進化に向けて**

当期末の配当金につきましては、当初公表の通り1株につき5円とさせていただきます。中間配当として5円の配当を実施しておりますので、年間配当額は1株当たり10円(前期は9.5円)となりました。

今後も、長期経営計画「KITZ Global Vision 2020」に掲げた「真のグローバル企業への進化」を果たすべく、グループ一丸となって邁進してまいりますので、株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 第2期中期経営計画(2013年度～2015年度)の業績目標(連結)

	2013年度			2014年度		2015年度
	中期経営計画 (2013年5月公表)	修正計画 (2013年10月公表)	実績	中期経営計画 (2013年5月公表)	経営計画 (2014年5月公表)	中期経営計画 (2013年5月公表)
売上高	▶ 1,200億円	▶ 1,170億円	▶ 1,173億円	▶ 1,300億円	▶ 1,220億円	▶ 1,430億円
営業利益	▶ 72億円	▶ 54億円	▶ 64億円	▶ 89億円	▶ 82億円	▶ 116億円
経常利益	▶ 71億円	▶ 53億円	▶ 65億円	▶ 87億円	▶ 80億円	▶ 114億円
当期純利益	▶ 43億円	▶ 32億円	▶ 35億円	▶ 53億円	▶ 50億円	▶ 71億円
海外売上高比率	▶ 26.8%	▶ 27.3%	▶ 27.6%	▶ 27.6%	▶ 27.5%	▶ 30.8%
有利子負債	▶ 225億円	▶ 225億円	▶ 237億円	▶ 218億円	▶ 220億円	▶ 192億円
自己資本比率	▶ 60.1%	▶ 61.8%	▶ 61.1%	▶ 61.0%	▶ 63.1%	▶ 63.2%
ROE	▶ 7.1%	▶ 5.2%	▶ 5.7%	▶ 8.2%	▶ 7.3%	▶ 10.2%

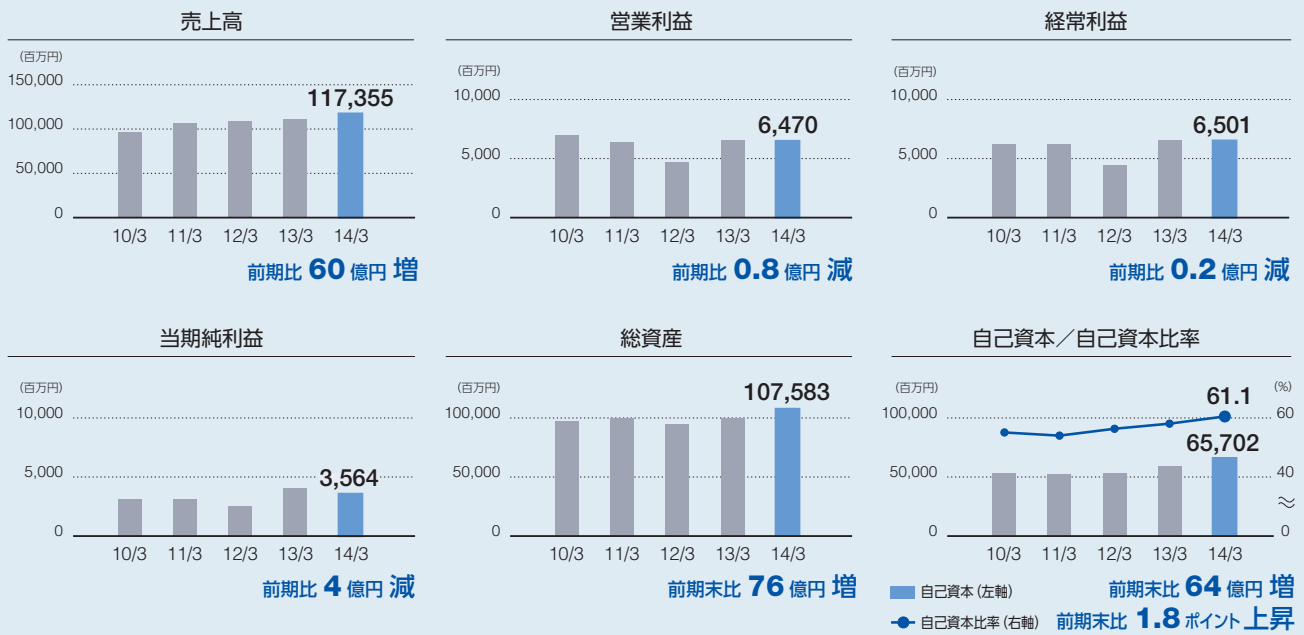
#### 【セグメント別売上高】

バルブ事業	▶ 910億円	▶ 880億円	▶ 878億円	▶ 1,000億円	▶ 920億円	▶ 1,114億円
伸銅品事業	▶ 200億円	▶ 205億円	▶ 209億円	▶ 210億円	▶ 210億円	▶ 217億円
その他	▶ 90億円	▶ 85億円	▶ 85億円	▶ 90億円	▶ 90億円	▶ 99億円

#### 【セグメント別営業利益】

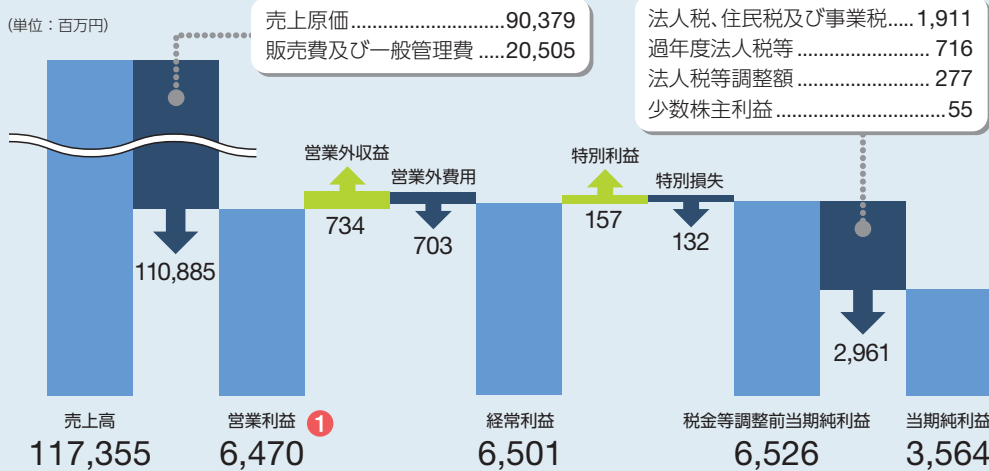
バルブ事業	▶ 92億円	▶ 74億円	▶ 85億円	▶ 114億円	▶ 103億円	▶ 139億円
伸銅品事業	▶ 5億円	▶ 5億円	▶ 5億円	▶ 6億円	▶ 6億円	▶ 5億円
その他	▶ 3億円	▶ 3億円	▶ 2億円	▶ 2億円	▶ 4億円	▶ 4億円

● 主要連結財務指標 ●



● 連結損益計算書の概要 ●

当期 (2013年4月1日~2014年3月31日)



Financial Data  
100 term

Point 1

営業利益は、円安に伴う海外生産品の輸入価格上昇の影響が大きく、また、価格競争の激化などにより販売価格が下落した結果、前期末比1.3%減の約64億円となりました。

Point 2

資産については、現預金、売上債権、棚卸資産、有形固定資産、投資有価証券などの増加により前期末に比べ約76億円増加いたしました。

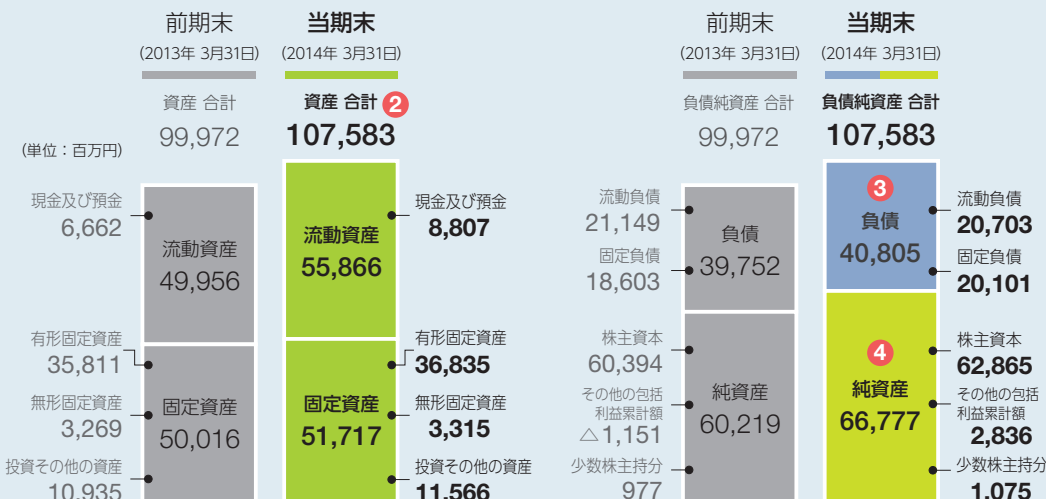
Point 3

負債については、法人税等の納付による未払法人税等の減少などがありましたが、有利子負債の増加などにより、前期末に比べ約10億円増加いたしました。

Point 4

純資産については、配当金の支払により利益剰余金の減少があったものの、当期純利益約35億円や為替換算調整勘定が約33億円増加したことなどにより、前期末に比べ約65億円増加いたしました。

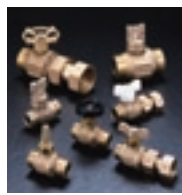
● 連結貸借対照表の概要 ●



## キッツ茅野工場に第2工場棟を増築し、給装製品の一貫生産体制を整備

**キ** ッツ茅野工場は第2工場棟を増築し、2014年3月より本稼働を開始しました。これまで、住宅用給装製品については、鑄造工程が茅野工場に、加工・組立工程が長坂工場にあり、製造部門が2つの工場に分かれていました。第2工場棟の完成により、長坂工場の加工・組立工程を移転し、茅野工場に製造部門を集約したことで、鑄造工程から完成品まで一貫生産できる体制が整いました。

今後も、さらなる生産の効率化を目指してまいります。



住宅用給装製品



茅野工場 第2工場棟

## 伊那工場隣のスポーツ公園の名称が「東原キッツグラウンド」に決定

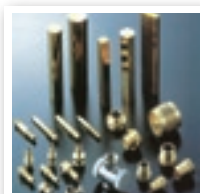


東原キッツグラウンド

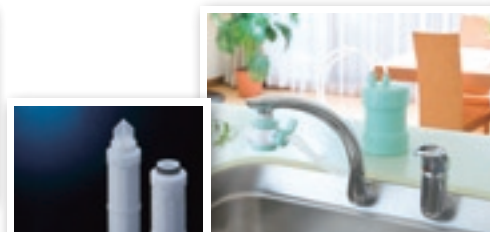
**伊** 那市は、キッツ伊那工場の東側隣接地に「東原スポーツ公園運動場」を整備しました。キッツは、そのネーミングライツ（命名権）スポンサーに応募。その結果、長年にわたる「春の高校伊那駅伝」への協賛など、地域貢献に高い実績があることが伊那市から評価され、スポンサーとして正式に選定されました。これは、伊那市がネーミングライツ導入後、初の契約成立でもあります。東原スポーツ公園運動場は、2014年4月1日より3年間「東原キッツグラウンド」の愛称で親しまれることとなります。

## キッツメタルワークス、キッツマイクロフィルターが分社10周年

**以** 前は、キッツの事業部門であった伸銅品事業とマイクロフィルター事業。これらは、バルブ事業とはユーザー、商流、生産方式がいずれも異なっていました。そこで、それぞれの事業に応じた的確で迅速な意思決定による経営を目指して、2004年に両事業を分社独立させ、キッツメタルワークスとキッツマイクロフィルターとしてスタートしてから丸10年が経過しました。マーケット指向及びプロフィット指向の強化が奏功し、両社はそれぞれの領域で事業規模の拡大を実現しています。



キッツメタルワークスの製品群

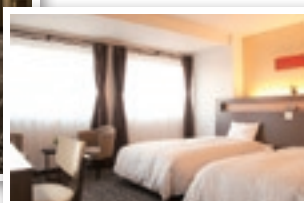


キッツマイクロフィルターの薬液中空糸膜フィルター（左）と家庭用浄水器（右）

## ホテル紅や 本館・別館をリニューアル



コンベンションホール



稀石の癒 客室

**グ** ループ会社のホテル紅やでは、築25年を経過した本館をリニューアルしました。今回のリニューアルでは、エネルギー効率の向上も考慮し、屋上の防水設備、外壁の塗装改修の他、お客様に快適にお過ごしいただけるコンベンションホールの全面改装も行いました。

その他、別館「稀石の癒（きせきのゆ）」の客室のリニューアルを実施。さらに上質な空間とサービスを提供してまいります。

# 会社概要

- 商号 株式会社キッツ
- 本社 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目10番1  
TEL (043) 299-0111 (大代表)
- 代表取締役社長 堀田 康之
- 資本金 21,207,084,670円
- 設立年月日 1951年1月26日

- 工場 長坂工場 (山梨県) / 伊那工場 (長野県) / 茅野工場 (長野県)
- 営業網 札幌 / 仙台 / さいたま / 千葉 / 横浜 / 茅野 / 新潟 / 富山 / 静岡 / 名古屋 / 大阪 / 岡山 / 広島 / 福岡
- 従業員数 (単体) 1,211名 (2014年3月31日現在)
- (連結) 3,982名

## グローバル ネットワーク

### 海外生産拠点

- KITZ (Thailand) Ltd. / タイ (サムットプラカーン)
- 台湾北澤股份有限公司 / 台湾 (高雄市)
- 北澤精密機械 (昆山) 有限公司 / 中国 (江蘇省)
- 北澤閥門 (昆山) 有限公司 / 中国 (江蘇省)
- 連雲港北澤精密閥門有限公司 / 中国 (江蘇省)
- 北澤半導体閥門 (昆山) 有限公司 / 中国 (江蘇省)
- KITZ Corporation of Europe, S.A. / スペイン (バルセロナ)
- Perrin GmbH / ドイツ (ヘッセン州)

### 海外販売拠点

- 上海開滋国際貿易有限公司 / 中国 (上海市)
- KITZ Corporation of Asia Pacific Pte. Ltd. / シンガポール
- KITZ Valve & Actuation Singapore Pte. Ltd. / シンガポール
- KITZ Corporation of America / アメリカ (テキサス州)
- KITZ SCT America Corporation / アメリカ (カリフォルニア州)
- KITZ Europe GmbH / ドイツ (ヘッセン州)

### 国内グループ会社

- 東洋バルブ株式会社
- 株式会社清水合金製作所
- 株式会社キッツエスシーティー
- 三吉バルブ株式会社
- ワイケイブイ株式会社
- 株式会社キッツエンジニアリングサービス
- 株式会社キッツマイクロフィルター
- 株式会社キッツメタルワークス
- 株式会社キッツウェルネス
- 株式会社ホテル紅や
- 株式会社キッツジーアンドアイ

### 駐在員事務所

- KITZ Corporation (Korea Liaison Office) / 韓国 (ソウル市)
- KITZ Corporation (India Liaison Office) / インド (ムンバイ市)
- KITZ Corporation (Dubai Branch) / U.A.E. (ドバイ酋長国)

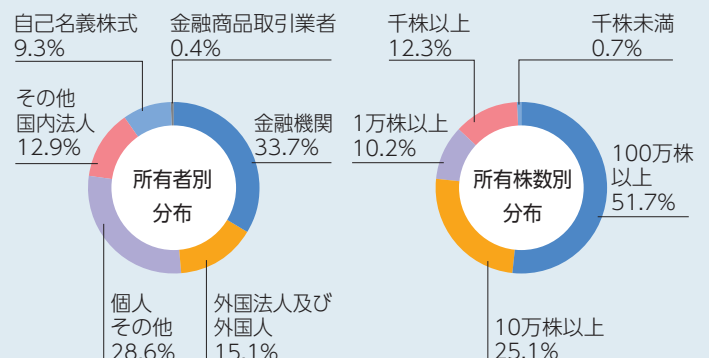
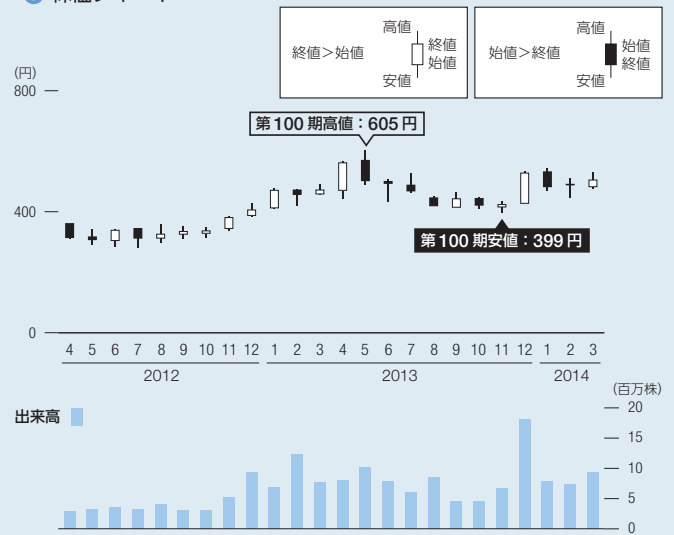
## 株式の状況

- 発行可能株式総数 400,000,000株
  - 発行済株式の総数 109,218,877株
- (注) 上記の株式の総数には、当社が2014年3月31日に保有する自己株式 11,177,634株を含んでおりません。
- 株主数 10,437名
  - 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	13,338	12.21
日本生命保険相互会社	4,542	4.16
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	4,175	3.82
北沢会持株会	3,634	3.33
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	3,453	3.16
公益財団法人北澤育英会	3,411	3.12
住友生命保険相互会社	2,879	2.64
キッツ取引先持株会	2,867	2.63
株式会社みずほ銀行	2,553	2.34
株式会社三井住友銀行	2,553	2.34

- (注) 1. 当社は、2014年3月31日現在、自己株式 11,177千株を保有しており、上記大株主から除外しております。
2. 上記の持株数には、信託業務に係る株式を次の通り含んでおります。  
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) 13,338千株  
日本マスタートラスト信託銀行(株) 4,175千株
3. 住友生命保険(相)の持株数には、変額口86千株及び特別勘定口32千株を含んでおります。
4. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式 11,177,634株を除いて計算しております。

### 株価チャート



## 期末配当金のお支払について

2014年5月30日開催の当社取締役会におきまして、第100期の期末配当金について、以下の通り決議されております。

### 期末配当金：1株につき 金5円

(中間配当金として2013年12月に1株につき5円の配当を実施しておりますので、年間の配当金は1株につき10円となります)

効力発生日ならびに支払開始日：2014年6月12日(木)

同封の「第100期期末配当金領収書」により、払渡しの期間(2014年6月12日～7月14日)内に最寄りのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。また、銀行等口座振込をご指定の方には、「第100期期末配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」の記載をご確認いただけますよう、お願い申し上げます。

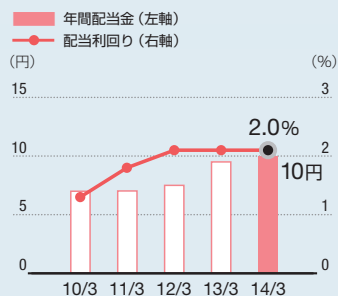
## 株主の皆様のご意見が経営に反映されます

株主総会に提案された議案について、株主の皆様にご賛成や反対の意思表示をしていただくことを「議決権の行使」といいます。株主の皆様には100株につき1個の議決権をご所有いただいております。株主様がこの権利を行使することにより、当社の経営に参画していただくこととなります。議決権を行使いただく方法は、以下の通りです。

- ① 株主総会にご出席いただき、提案された議案に対する賛否を表明していただきます。
- ② 株主総会にご出席いただくことができない場合は、「議決権行使書用紙」に、議案に対する賛否を表示し、返送していただきます。

## 株主の皆様への配当方針

キッツは、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題として認識し、配当の継続性、安定性に留意しながら、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。
公告掲載方法	電子公告 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載 URL ( <a href="http://www.kitz.co.jp/">http://www.kitz.co.jp/</a> )
単元株式数	100株

## 株主優待のご案内

キッツでは年2回、次の優待を実施しております。

### ○ 3月末現在の株主様

#### ① 1,000株以上：「株主様ご優待案内」冊子

ホテル紅や宿泊割引券、フィットネスクラブ施設体験・各種割引券、高性能浄水器・各種交換カートリッジの割引販売、北澤美術館招待券

#### ② 2,000株以上：①+オリジナルクオカード

(保有株数)	(優待内容)
2,000株以上	1,000円券1枚
3,000株以上	2,000円券1枚
4,000株以上	3,000円券1枚

※6月下旬の発送予定

クオカードは、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、ファミリーレストランなど、全国約50,000の加盟店で利用可能な、現在、最も汎用性の高いプリペイドカードです。

### ○ 9月末現在で1,000株以上ご所有の株主様

北澤美術館カレンダー ※12月上旬の発送予定



## 北澤美術館

キッツは、社会貢献活動の一環として公益財団法人北澤美術館の活動を支援しています。北澤美術館では、19世紀末フランスのアル・ヌーヴォー期の世界第一級のガラス工芸品と現代日本画を中心に優れた作品を常時展示しており、国内外を問わず高い評価をいただいております。

2013年に開館30周年の節目を迎え、展示室のリニューアルを実施。展示スペースはこれまでの約2倍となりました。現在、開館30周年記念特別展「ドーム兄弟」を開催中です(2015年3月29日まで)。本報告書表紙の「春草文花瓶」をはじめ、約120点を展示し、皆様のご来館をお待ちしております。

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)

### (ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。